



しるしたこうさく

# 城下広作県政報告誌

2024年 7月発行

県民の身近な代弁者

県民の身近な代弁者

熊本県会議員



熊本市第1選挙区選出  
(中央区・東区・北区)

熊本県議会

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1  
Tel.096-333-2645/Fax.096-385-9767

第106号

## ご挨拶



城下広作のホームページ

猛暑の候、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。さて、昨年の熊本県議会議員選挙からおよそ1年4ヶ月が過ぎました。その間、熊本県知事選挙も行われ、これまでの蒲島郁夫前知事から多くの県民の負託を受けられた木村敬新知事が誕生しました。TSMCの誘致で活気づく熊本県の将来に向け、どの様なかじ取りをされるのか、県内外から注目を集めています。木村知事就任後初めてとなる6月議会で私は代表質問を行いました。概要は裏面に掲載しています。是非、ご一読をお願い申し上げます。結びに、皆様方のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

県会議員(会派公明党)城下広作

## 熊本豪雨

仮設の 入居 状況	建設型 仮設住宅	90戸 (190人)
	借り上げ型 みなし仮設	45戸 (85人)
	公営住宅 など	25戸 (36人)
	木造仮設 利活用住宅	57戸 (101人)

7月18日現在

## 地域活力創生特別委員会

6月28日、上記委員会が開催、デジタル田園都市国家構想のエリア・データ連携基盤は、民間や行政が保有する様々なデータを連携させるとのことだがどの様なものがあるのか、また、現在県内13市町村との共同運用とのことだが、他の市町村まで参画が広がっていない理由は何か質問。答弁として、民間事業者のバス情報等があり、市町村の負担金があり広がりを見せていない。引き続き取り組む。



※半導体チップ

## 経済環境常任委員会

7月2日、上記委員会が開催、大阪・関西万博連携事業について、万博と熊本とをどう結び付けて県内に効果を波及させていくのか、また、クルーズ船誘致促進事業に関連し、どの様な誘致活動をするのか質問。

答弁として、くまモンが万博のスペシャルサポーターに就任しており、くまモンの知名度や発信力を活用する。クルーズ船誘致は、ロイヤルカリビアン社と協力し、未寄港の船社に働きかける。



# 4月から7月までの主な活動! 動きます・働きます!!

### 県立ゆうあい中学校入学式参加



●4月11日

### 県動物愛護センター・こども図書館視察



●4月25日

### 水俣病犠牲者慰霊式参加



●5月1日

### 北九州市平和ミュージアム視察



●5月5日

### 県選出国会議員との意見交換



●5月18日

### 熊本県行政書士会・政治連盟総会



●5月26日

### ピース大阪国際平和ミュージアム視察



●5月31日

### 在宅就労支援事業団広島大学辞令交付式参加



●6月3日

### 熊本港耐震化岸壁着工式参加



●6月8日

### 県トラック協会総会参加



●6月21日

### 天草市牛深雑節工場視察



●7月6日

### 南九州観光振興議連役員会



●7月16日

# 令和2年6月定例会 城下広作議員 代表質問の答弁要旨

## ① 質問1

### 1. 知事就任の決意について

#### ① 県政運営に対する基本姿勢

### ① 答弁の要旨(木村県知事)

私の座右の銘は「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も」。好きな言葉は、「やってみなはれ」。熊本弁でいえば、「やってみなっせ」の精神で、県職員にはリスクを恐れず挑戦を続けることを求め、共にくまもと新時代の県政を進めていきたい。

#### ② くまモンの活用

全国や海外の皆様との絆を大切に、被災地の復興を応援していきたいと思い、くまモンを新たに「復興応援“絆”大使」に任命したいと思う。

## ② 質問2

### 2. 少子高齢化・人口減少問題について

### ② 答弁の要旨(木村県知事)

国に求めるだけでなく、県としても市町村との連携や広域調整により、主体的に進めることが重要。県の新たな取組みとして、「こども未来創造会議」を開催。

## ③ 質問3

### 3. TSMC進出に係る水問題について

#### ① 排水中の化学物質の監視

### ③ 答弁の要旨(木村県知事)

排水中の化学物質の監視については、TSMCに限らず、本県に立地する工場・事業場は、日本の法令や本県の条例に基づく基準等を守っていただく必要がある。

#### ② 半導体関連産業の集積に伴う排水対策

対象区域や流入水量については、関係部局や周辺自治体から、半導体関連産業の集積の見通し及び進出企業等についての情報をしっかりと把握し計画する。

#### ③ 地下水取水量の削減

許可申請の際に地下水利用計画と併せて、取水量を抑制するための合理化計画やかん養計画の提出を求め、計画の妥当性及び実現性を審査している。

## ④ 質問4

### 4. 失われる農地の新たな確保について

### ④ 答弁の要旨(農林水産部長)

広域的な農地確保も見据え、農業振興と企業進出の両立を目指して、関係市町や団体と連携を図り、営農継続に向け、農家に寄り添った対策を進めていく。

## ⑤ 質問5

### 5. TSMC進出に係る渋滞対策について

#### ① 九州自動車道・JR豊肥本線割引の導入

### ⑤ 答弁の要旨(亀崎副知事)

高速道路料金の割引は滞緩和のためのソフト対策の一つとして有効な手段と認識。JRの割引等も含め、あらゆる角度から幅広く検討し渋滞解消に向け取り組む。

#### ② 新道路公社設立

### ⑤ 答弁の要旨(木村県知事)

3連絡道路の有料道路制度を活用する事業手法が有効と考え、その役割を担う事業主体の1つとして、熊本市と連携した「新・熊本道路公社」を提唱した。

## ⑥ 質問6

### 6. 県立技術短大の定員増と四年制移行について

### ⑥ 答弁の要旨(木村県知事)

県内産業界の期待に応えるため、更に魅力ある学校へ飛躍することが必要と認識している。今後、技大の基本理念に掲げる「実践技術者を育成し、本県の経済社会の発展に寄与する」という役割を果たすために必要な取組みを検討していく。

## ⑦ 質問7

### 7. 他県との交通アクセス問題について

#### ① 宮崎県の新幹線構想

### ⑦ 答弁の要旨(木村県知事)

宮崎県がルート案を示された。本県としても県南地域の浮揚という観点から、とても夢があり、私としても興味を抱くルート案である。本県としても注視して参る。

#### ② 三県架橋構想

三県架橋構想は、新しい経済文化圏の形成と地域の活性化をもたらす大きな可能性に満ちた構想。両県や期成会・住民の皆様とともに地元の熱意を国に訴えて参る。

## ⑧ 質問8

### 8. 災害時の危機管理対応について

#### ① 災害直後の支援体制強化

### ⑧ 答弁の要旨(竹内副知事)

避難所運営の開設から運営までを円滑に行えるよう、過去の災害の教訓を生かしたマニュアルを整備し市町村に周知している。また、民間支援団体と連携し、市町村職員や地域住民が避難者対応を学ぶ研修にも取り組んでいる。

#### ② 避難情報の周知徹底

「逃げ遅れゼロ」を目指し、気象台や市町村等関係機関と連携し、全県民に避難情報が確実に届く体制の構築を図って参る。障がい者や高齢者対策にも力を入れる。

#### ③ 放置車両への対応

迅速な放置車両の除却は、初動体制確保の上で大変重要であり、非常に有効なことだと認識している。大型車両等を運搬する技術力を持つレッカー業の団体との支援協定締結に向け、協議を進めており、早期締結に向け取り組んで参る。

## ⑨ 質問9

### 9. 下水サーベイランスについて

### ⑨ 答弁の要旨(健康福祉部長)

下水サーベイランスには、人から検体を採取せずに感染状況を予測できる可能性があるが、国の実証事業においては、課題も明らかになっている。流行予測調査の結果等についての情報を収集し、課題の整理とその分析を進める。

## ⑩ 質問10

### 10. スポーツ施設の今後の取り組みについて

### ⑩ 答弁の要旨(木村県知事)

スポーツ施設整備の方向性については、今後設置を予定している検討会議の中で、特定のスポーツに偏ることなく議論を尽くしていく必要があると認識。県の活力につなげる。

## ⑪ 質問11

### 11. 平和ミュージアム構想について

### ⑪ 答弁の要旨(木村県知事)

戦争と平和に関するミュージアムについては、戦争の記憶や教訓を次世代に伝えるもので、その設立趣旨は、県の取組みと意思を同じくするものと考えている。まずは、熊本市や戦没者遺族会などの意見を踏まえて対応して参る。

## ⑫ 質問12

### 12. がん患者の「アピアランスケア」の対応について

### ⑫ 答弁の要旨(健康福祉部長)

ウィッグや乳房補正具等のアピアランスケア用品への助成を行い、がん患者の経済的・心理的負担を必要とされているがん患者の方々が、県内のどの市町村にお住まいであっても支援を受けられることが望ましいと考えている。

熊本県議会インターネット中継は、こちらのQRコードから



## PROFILE 城下広作プロフィール

●熊本県議会議員(熊本市第一選挙区【中央区・北区・東区】)7期 ●党県代表 ●九州測量専門学校卒 ●県立牛深高校同窓会顧問、九州測量専門学校顧問、県行政書士政治連盟顧問、県土地家屋調査士政治連盟顧問、県環境整備事業協同組合顧問 ●1959年4月8日生まれ

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/> ●メール [info@shiroshita-kousaku.net](mailto:info@shiroshita-kousaku.net)

